



平成23年4月14日

各位

会社名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎
 (コード番号 6632 東証第一部)
 問合せ先 取締役 兼 CFO 不破 久温
 (TEL 045-444-5232)

平成23年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期における第3四半期以降の業績動向をふまえ、平成22年10月28日に発表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、個別の業績予想につきましては、開示しておりません。

記

1. 業績予想数値の修正

通期の業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成22年10月28日発表)	360,000	11,000	4,500	8,000	円 銭 82 74
今回修正予想 (B)	352,000	12,500	7,000	4,000	円 銭 38 36
増減額 (B-A)	8,000	+1,500	+2,500	+4,000	—
増減率 (%)	2.2%	+13.6%	+55.6%	—	—
(参考) 平成22年3月期実績	398,663	6,453	14,752	27,795	円 銭 287 48

(注) 当社は、平成22年8月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。また、平成23年1月25日付で新株式発行および自己株式の処分を行っています。

上記の前回発表予想 (A)、今回修正予想 (B) および (参考) 平成22年3月期実績の1株当たり当期純利益は、比較がしやすいよう、株式併合が当該期間の期初から行われていたと仮定して算出しています。(前回発表予想 (A) および (参考) 平成22年3月期実績の1株当たり当期純利益は、発表当時の1株当たり当期純利益を10倍しています)

前回発表予想 (A) および (参考) 平成22年3月期実績の1株当たり当期純利益には、平成23年1月25日付の新株式発行および自己株式の処分による株式数の変更は反映されておりません。(前回発表予想 (A) に新株式発行および自己株式の処分による株式数の変更を反映した場合、1株当たり当期純利益は△76円72銭となります)

2. 修正の理由

当社は、当第2四半期連結累計期間の実績と為替動向をふまえて、平成22年10月28日付で通期業績予想を修正いたしました。これに対して、当第3四半期における売上高は想定どおりの水準となり、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ想定を大きく上回る水準となりましたが、当第4四半期には季節要因、経済環境、「企業基盤再構築に向けたアクションプラン」に沿った早期希望退職者募集の状況など不確定要素が多いことを勘案し、通期業績予想を据え置いておりました。

当第4四半期は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖大地震の影響により、一部の事業において国内市場における販売機会が減少しましたが、カーエレクトロニクス事業や業務用システム事業において海外市場向けの販売強化に取り組んだ結果、当第3四半期に引き続き、カーエレクトロニクス事業では市販分野と OEM

分野のそれぞれが海外市場を中心に好調に推移し、業務用システム事業では業務用無線機器分野が最大市場である米国や成長市場である中国・アジアなどの海外市場を中心に好調を持続しました。

これにより、通期の売上高は前回発表予想を 2.2%下回るものの、営業利益は前回発表予想を 13.6%上回る見込みとなりました。

通期の経常利益につきましては、当第 3 四半期の経常利益が寄与し、前回発表予想を 55.6%上回る、経営統合後初めての黒字となる見込みです。

通期の当期純利益につきましては、当第 4 四半期で完了しました「企業基盤再構築に向けたアクションプラン」に沿った早期希望退職者募集にともなう費用が想定を上回ったものの、当第 3 四半期の四半期純利益が寄与し、前回発表予想に対して損失額が半減いたしました。

(注) 上記の平成 23 年 3 月期業績予想は、当社が本日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

平成 23 年 3 月期業績は本年 4 月 27 日に公表する予定です。

以 上